

平成30年8月23日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標題 目指せ適期出荷！－取り組み2年目の江津市産小ギクについて－

(ダイジェスト)

取り組み2年目となった江津市の小ギクの出荷が無事に終了しました。昨年度に少量での試験栽培を行った4戸の生産者が、本年は栽培面積を拡大して栽培に取り組んだ結果、全戸が出荷適期である盆前に収穫を終えることが出来ました。

小ギクは露地栽培が可能な省力的な品目である上、盆や彼岸といった物日には市場や直売所での需要も高く、水田転作の園芸品目の1つとして有望な品目です。そこで、江津市における花き振興の一環として、昨年度より小ギク栽培の取り組みが始まりました。

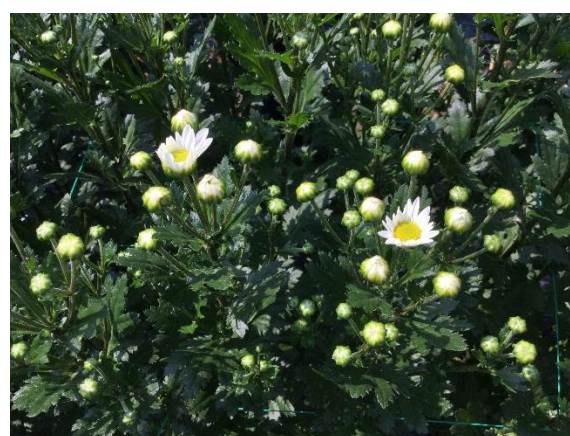
浜田農業普及部としてもこの取り組みを支援するため、本年4月より毎月栽培講習会を実施してきました。7月19日には出荷目合わせ会を開催し、小ギクの切り前及び出荷時の梱包方法について確認を行うとともに、(株)花満 切花部の藤岡部長と松本課長に市場情勢についての情報提供をしていただきました。目合わせ会終了後は、各生産者のほ場を巡回し、(株)花満より直々に出荷に関する指導をしていただき、ある生産者の小ギクは「100点！」との評価をいただき、益々栽培意欲が高まったようでした。

江津市の小ギクは7月23日より市場出荷を開始し、盆前の8月10日に出荷が終了しました。期間を通した各生産者の平均単価は、市場の平均単価を上回り、品質についても問題ないことが確認されました。

今後は、親株管理と育苗についての講習会を開催し、次年度に向けての栽培指導を引き続き行っていきます。



出荷目合わせ会の様子



収穫適期をむかえた小ギク